

大阪大学総合学術博物館第 15 回特別展



近代大阪に生まれた
女性一人遣いの人形浄瑠璃

— 開花から現在まで —

乙女文楽



2021 年 10 月 18 日 (月) — 12 月 18 日 (土)

11 : 00 ~ 16 : 00 (入館は 15 : 30 まで) 日曜・祝日は休館

会 場 : 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

入館料 : 無料

主催/大阪大学総合学術博物館

共催/大阪大学大学院文学研究科

乙女文楽

—開花から現在まで—

～近代大阪に生まれた女性一人遣いの人形浄瑠璃～

乙女文楽とは昭和初期に大阪で誕生した一人遣いの人形浄瑠璃の総称です。当時流行した少女歌劇などを手本に人形遣いは主に十代の少女が担い、床の浄瑠璃は素人義太夫や女流義太夫によって担われたとされています。人形は三人遣いの文楽人形をもとにした大振りのものを一人で遣えるよう改造されていました。昭和戦前期の大阪を中心に活動がなされましたが、全国に伝えられ、特に神奈川県などでは現在でも活発に乙女文楽の伝承活動がなされています。

戦後の大阪には、戦前の系譜を引き継ぎながら、活動が続けていた乙女文楽の一座がいくつかありましたが、昭和40年代以降、大阪を中心とした活動は下火となり、解散する一座も現われました。当時解散した乙女文楽の一座の人形や衣装・道具類は各方面に譲渡されていきましたが、後にそうした衣装類の一部が大阪大学に寄贈されることになりました。本展覧会では大阪大学が所蔵する乙女文楽の衣装を中心に乙女文楽の歴史と現在を紹介します。

展示内容

- 1、人形浄瑠璃の近代
- 2、乙女文楽の歴史
- 3、現代の乙女文楽



ラジウム温泉チラシ



乙女文楽衣装



乙女文楽衣装



乙女文楽人形胴



乙女文楽小道具

主な展示品

- ・「大阪娘文楽座」衣装・人形胴・肩板・道具類（道具幕・小道具等）
- ・乙女文楽首
- ・三人遣い文楽人形
- ・現代の乙女文楽人形

展覧会関連イベント

乙女文楽実演付解説イベント実施予定!!
現代に乙女文楽を継承するいくつかの個人・団体の演者の方々に、実演を交えながら乙女文楽について解説いただくイベントを複数回開催予定です。
日程など詳細は大阪大学総合学術博物館ホームページにて随時ご案内します。
<https://www.museum.osaka-u.ac.jp>

アクセス

大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町 1-20

TEL: 06-6850-6284

<https://www.museum.osaka-u.ac.jp>



阪急宝塚線
「石橋阪大前」駅より徒歩 10 分
大阪モノレール
「柴原阪大前」駅より徒歩 20 分
※公共交通機関をご利用ください。

◆ご来館のみなさまへ◆

新型コロナウイルス感染症予防のため会期・イベント等を変更・中止する場合があります。現在当館では入場人数の制限や開館時間の短縮、来館者のみなさまへのマスクの着用や健康チェックシートのご記入をお願いしております。来館やイベント申込にあたっては、事前にホームページでご確認ください。

本展覧会は、JSPS 科研費 16K02349, 19K00235 の助成を受けたものです。